

九キ災 オリジナル 防災グッズ

命をつなぐ備え、それは私から始まる

この度、九キ災は防災グッズの販売を開始します。その名もMottoki Nasse(モトキ ナッセ)。Mottoki Nasseとは、「持っておいた方がいいよ」という思いを、熊本弁の「持ときなっせ」という言葉に託した防災グッズです。



九キ災オリジナル
防災グッズの特長

- ☑ 九キ災の防災士が厳選しています。
- ☑ 熊本地震で被災された方々の声を参考に選びました。
- ☑ 避難所への持ち運びにも対応しています。
- ☑ 防災グッズの説明書が付いています。



商品ラインナップ / 用途にあった4つのパターンを用意しております

- ① MottokiNasse フルセット(すぐ食べられる軽食付き) / ¥18,000(税込・送料込)
- ② MottokiNasse グッズのみ(食料なし、グッズのみを備えておきたい方用) / ¥17,000(税込・送料込)
- ③ MottokiNasse 軽食セット / ¥1,800(税込・送料込)
- ④ MottokiNasse もっと備えたい方用(1人用3日分食料セット) / ¥9,000(税込・送料込)

防災士アドバイス: 高い確率での発生が予想されている南海トラフ大地震などの大災害時には、長期間に渡り流通がストップすることも予想されています。長引く非日常への備えを進めましょう。

詳細はチラシにて
ご確認ください

賛助会員 大募集中!! ~ 認定NPOを目指して ~

当センターは認定NPOを目指して準備を整えています。認定NPOになると、寄付金の税制優遇などのメリットがあり、継続して災害に対応する組織としての基盤作りが可能となります。まずは、賛助会員200名(現在130名)を目指しています。皆様のご支援を宜しくお願い致します。

■ 賛助会員 詳細は九キ災のHPまたは本部事務局まで
年会費: 賛助会員 / (個人) 1口1,000円(1口以上)
(団体) 1口3,000円(1口以上)

■ 振込口座【NPO法人 九州キリスト災害支援センター】

- ・ ゆうちょ銀行 / 【記号】17420 【番号】81598531
- ・ ゆうちょ銀行 振替口座 / 01720-5-169579
※振込手数料が無料となる払込用紙をお送りしますので、本部事務局までご連絡ください。
- ・ 三菱東京UFJ銀行 / 福岡支店
【普通預金】店番 652 口座番号 2613361

※ご送金の際は、九キ災本部事務局までメールか電話でご連絡先をお知らせください。領収書等を後日お送り致します。

■ 熊本ベースボランティアセンター

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山 372-1
TEL: 096-237-6341 FAX: 096-237-6380
Email: kcdrcvolunteer@gmail

■ 宮崎支部事務局 (霧島キリスト教会内)

住所: 〒880-0032 宮崎市霧島 2-20
E-mail: 9kisaimiyazaki@gmail.com
HP: <http://miyazaki9ki.html.xdomain.jp/>

九州キリスト災害支援センター 本部事務局

〒814-0155 福岡県福岡市城南区東油山6-15-9 (油山シャロームチャペル内)

TEL: 092-873-6235 / FAX: 092-873-6232
E-mail: kyusyuchristdrc@gmail.com



ホームページQRコード

九キ災



キリストにあってひとつ

NEWS LETTER

2021.8 No.24



佐賀ボランティアの様子

巻頭言 私たちの備えが地域を照らす光となることを信じて

6月の総会を経て2021年度の活動・決算が承認され、今年度の活動が始まりました。昨年度は九州豪雨での支援において多くの祈りと献金が積まれたことを改めて感謝いたします。今年度は、防災グッズの販売・防災キャンプの開催など、Lights of Japan「つながる・そなえる・そだてる」の3プロジェクトにこれまで以上に力を入れて取り組みます。詳細は中面をご覧ください。多くの課題がありますが、知恵と力が与えられますようにお祈りください。

また、30年以内に80%の確率で発生が予想されている南海トラフ大地震をはじめ、私たちは次の災害に備える必要があります。巨大災害に対し、皆で協力して取り組み、私たちの命を守る備えを進めていく必要があります。一方で、私たちは「なぜ備えるのか」にも目を向けたいと思います。飢饉に備えたヨセフの働きは、多くの人に光をもたらしました。教会が防災を進めることで、地域防災の契機となります。私たちが備えることで、緊急時に他者の助けとなることができ、防災を通して、光をも備えることができるのです。そのために私たちができることを祈りつつ進めていきたいと思ひます。

8/19に佐賀・長崎の教会の先生を中心に「佐賀災害支援教会ネットワーク」が形成され、地元教会による支援活動への取り組みが始まっています。九キ災も武雄ベースの開設によりこの働きに加わらせていただきました。被災地に大きな愛が届きますように皆様のお祈りをお願いいたします。

本部長 市來 雅伸

2020年度会計報告

皆さまのお祈り、ご支援を心から感謝いたします

この一年間も皆さまのお祈りとご支援によって活動を続けることができました。今年度は受取寄付金の内、豪雨災害への指定献金として15,703,238円の指定献金がありました。また、1年を通して本当に多くの方々より尊い寄付金が捧げられ、また助成金なども活用しながら運営することができました。

支出では、支援活動の内、初めてのコロナ禍での活動となった豪雨災害への支援活動に対し、総額21,007,441円を支出いたしました。引き続き、皆さまのお祈りとご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

【期間:2020.5.1~2021.4.30】

| | |
|-----------|-------------|
| 2020年度収入 | 81,205,753円 |
| 2020年度支出 | 42,485,577円 |
| 当期正味財産増減額 | 38,720,176円 |
| 前年度繰越金 | 5,015,705円 |
| 次年度繰越金 | 43,735,881円 |

【収入内訳】

| | |
|--------|-------------|
| 受取会費 | 752,000円 |
| 受取寄付金 | 71,518,775円 |
| 受取助成金等 | 8,086,314円 |
| 事業収益 | 568,834円 |
| その他収益 | 279,830円 |
| 合計 | 81,205,753円 |

【支出内訳】

| | |
|----------|-------------|
| 支援活動 | 33,701,347円 |
| 防災・啓発活動 | 1,895,062円 |
| 寄付金募集 | 2,378,554円 |
| ネットワーク構築 | 624,312円 |
| 物品販売事業 | 75,413円 |
| 食品販売事業 | 113,120円 |
| 管理部門 | 3,697,769円 |
| 合計 | 42,485,577円 |

Lights of Japanプロジェクトへの指定献金のお願い

2019年より始まったLights of Japanは次期災害のための①つながる ②そなえる ③そだてるをテーマに3つのプロジェクトを掲げ有事には九州・全国へとより実践的なネットワークを用いた支援体制の構築を目指します。

①つながるプロジェクト:人の支援を実践するためのネットワークの構築

防災において、大切な備えの一つが「つながり」です。発災時の避難や災害支援時には、つながりが大きな意味を持ちます。また、コロナ禍での災害支援においても安心・安全な支援を展開するためのネットワークの構築も大切です。九キ災では全国・世界とのネットワークを構築するとともに各教会・自治体との連携をこれまで以上に進めるなど特に九州内でのネットワーク構築に注力していきます。

②そなえるプロジェクト:備蓄のモデルケースに取り組むことで自助・共助を促す

九州各県に200食分の備蓄(パン缶と水)と防災倉庫を提供。現在、佐賀・長崎・熊本・福岡の4箇所に設置済みです。令和2年豪雨災害支援(人吉市・大牟田市)の初動には防災倉庫より備蓄が用いられました。今年度は2箇所の設置を目指します。

また「これからの備え」の為に九キ災オリジナル防災グッズ「Mottoki Nasse」を販売いたします。熊本弁で「もっとき

なっせ」は「持ってたらいよいよ」という意味で、熊本地震で被災された方の経験を元に、九キ災防災士が厳選しパッケージしたものを紹介していきます。詳細はチラシをご覧ください。



③そだてるプロジェクト:経験を次期災害に生かす次世代継承プロジェクト

地域・教会の次世代に対し、地震・水害での支援活動の経験やノウハウを継承するなどの人材育成を目指します。今年度はモデルイヤーとして熊本県内の地域教会とKGKと連携してGROWキャンプを開催し、実践型の防災キャンプを行う予定です。また防災講話など、これまでボランティアで関わってくださった教会や学校で、これからの備えについて一人ひとりに何が出来るか一緒に考える機会をもっていきます。

| プロジェクト名 | 総事業費 |
|-------------|-------------|
| つながるプロジェクト | 4,000,000円 |
| そなえるプロジェクト | 3,600,000円 |
| そだてるプロジェクト | 3,900,000円 |
| 被災地コミュニティ支援 | 1,900,000円 |
| 計 | 13,400,000円 |

熊本ベース活動報告

4/20 熊本地震 益城町災害支援記録誌 —— 5年の歩み“たくす”作成



益城町行政・九キ災含む14災害支援団体と共に熊本地震より5年間の活動を振り返り、これからの災害の知見とするための災害記録誌を作成し益城町に寄贈いたしました。(熊本地震ジャパン・プラットフォーム助成事業)

きなっせカフェリニューアルオープン

6月より再開したきなっせカフェでは地域教会のボランティアによるドライフラワーアレンジ講習会を開催しました。住民さんは待ちに待ったきなっせカフェの再開、久しぶりに顔を合わせることにとても喜んでお

られました。おっかなびっくりお花を扱う方、大胆に何個も取り組む方、渋めの色を使う方、華やかなカラーの花束と皆さんそれぞれに楽しませていました。

6月 1回/きなっせカフェ参加者 6名
7月 5回/きなっせカフェ参加者 22名
ボランティア 3名

※夏休みには川遊びなど、子ども達がコロナ禍でも夏を満喫できるイベントも計画しています。



本部活動報告

◆5月21日

関西聖書神学校様で「災害支援と宣教」をテーマに授業を担当しました。これまでの災害において教会やボランティアがどのような働きをしてきたか、教会が地域の拠り所となるために何かできるのかについて共に学びました。神学生時代にこのような学びをすることは、後の牧会において大きな意味を持つと思います。

◆6月23日

通常総会がオンラインで開かれ、2021年度の活動報告・決算報告をしました。2022年度の計画・予算と併せて承認されています。九キ災にとっての総会は、NPOとしての活動内容の話し合いの場であるだけでなく、これまで守られてきたことへの感謝、これから備えられている道に対する委ねの祈りを共に捧げる大切な場所です。また、今年度も祈りを大切に進めていきます。

◆7月6日

福岡女学院看護大学様での授業を担当しました。災害支援のタイムラインや支援時に大切なことを学んだ後に、避難所の運営においてグループワークを行いま

した。「支援現場に立っている方の声を聞くことができるととても勉強になった」「私の想像を超えた避難所での対応があることが分かった」等の感想をいただきました。これからの学生の皆様の働きのために祈ります。



◆7月27日

日本イエス・キリスト教団の災害対策ミーティングで「南海トラフ大地震に教団でどう備えるか」の発題をさせていただきました。教団として真剣にこのような取組をされていることは九キ災にとっても大きな刺激となりました。特に、地震・津波による深刻な被害が予想されている地域での備えが進みますように祈ります。